

# 和泉府中駅前 再開発道路照明



場 所：大阪府和泉市府中町一丁目  
 工 事 名：和泉府中駅前再開発事業 和泉府中南通線照明工事  
 和泉府中駅前再開発事業 大阪和泉南線照明工事  
 施 主：和泉市  
 施 工：(和泉府中南通線) 東屋電気サービス㈱  
 (大阪和泉南線) 南丸東電気設備  
 竣 工：平成23年3月

S118

再開発事業で整備された再開発事業地区のシンボルロード「和泉府中南通線」の一部が供用開始。  
 道路灯・歩道灯には消費電力の少ないLED道路灯が採用されています。

再開発事業地区のシンボルロードとしてゆとりある歩道幅員を確保した「和泉府中南通線」の一部供用開始

JR阪和線和泉府中駅前の再開発事業において整備される「和泉府中南通線」が平成23年3月15日に一部供用開始となりました。

和泉府中南通線は、再開発事業地区のシンボルロードとして、ゆとりある歩道幅員を確保し、人々が行き交う快適な空間を創出しています。また、この道路を通り、大阪和泉南線から和泉府中駅へのアクセスが可能となりました。

LED道路灯は車道・歩道ともに連続照明用を採用。歩道灯は下面ガラスにフロスト加工と常時調光でグレア軽減

この道路の車道および歩道には、これまで一般的に使用されていた水銀ランプ道路灯と比較して大幅な消費電力およびCO<sub>2</sub>排出量が削減できるE-CORE [イー・コア] LED道路灯(初期初度補正機能付)が採用されています。車道照明はH=10mの直線形デザイン照明柱に設置され、約35m間隔の千鳥配列として障害物の存在を十分視認できる平均路面輝度0.5cd/m<sup>2</sup>以上を確保しています。歩道照明はH=5mのデザイン照明柱に設置され、片側約70mの車道照明間に2基(20~28m間隔)配置することによって「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」基準を満たした平均照度10lx以上が得られています。また、大阪和泉南線との交差点部は平均照度20lx以上が確保されています。

車道照明器具は平均消費電力84Wタイプ(色温度5000K)の連続照明用が使用されており、点灯時はスロースタート点灯機能を備えたことにより、緩やかな全点灯制御を可能とし、ドライバーが目くらみを起こさないように配慮しています。また、歩道照明器具は下面ガラスをフロスト加工し、常時調光した状態で使用することによって、歩行者に対するグレア軽減を図っています。



車道照明にはLED灯具を高さ10mの照明柱に配備し、千鳥配列。歩道照明はLED灯具を高さ5mの照明柱に配備



LED道路灯は約35m間隔の千鳥配置。LED歩道灯は片側約70mの車道

LED道路灯

LED歩道灯

## 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
車道	LED道路灯	LEDW-15201W(H)-C	3	LED 平均消費電力:84W
		LEDW-15101W(H)-C	8	
歩道	LED道路灯	LEDW-15201W(H)-C(下面フロストガラス)	7	LED 平均消費電力:61W